

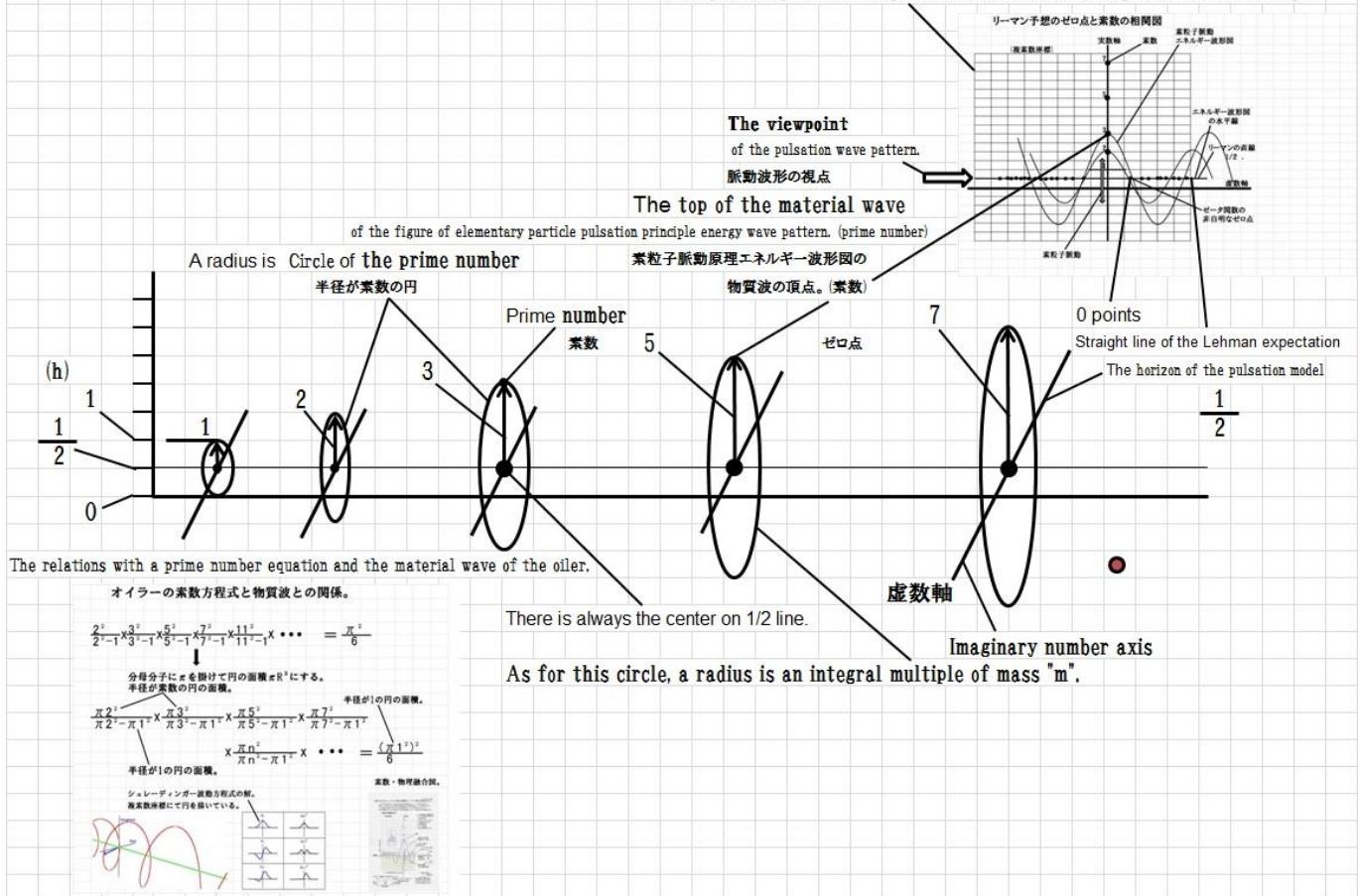
# Circle of the pulsation principle joins a prime number and physics together.(2)

I changed a figure.

- 1) The function of the prime number, the wave pattern of the zeta function are equivalent with the friendship of the sin wave of the having many kinds, cos wave by Fourier transform.
- 2) There are a sin wave, a cos wave and the point of intersection (0 points) with the axis on an axis. The point of intersection that left the axis (straight line) does not exist.
- 3) The top of the pulsation wave pattern has deep relation to prime number, mass, quark, 0 points, ...
- 4) Circle that is a trace of the circular motion is a quantum-mechanical autocoupling operator, an L meat operator.
- 5) Circle to assume a prime number a radius is a trace of the tops of the material wave of the pulsation principle, and Japanese yen and the point of intersection with the axis are zero points.
- (6) As for the product indication equation of the oiler, a radius is a circle of 1 integral multiple.
- (7) As for the quantum mechanics, a radius is a circle of the integral multiples of "h".
- (8) As for the mass of the quantum-mechanical mass, a radius is a circle of the integral multiples of "m".
- 9) Circle of the prime number, all the circular center have a radius on 1/2 line. (Lehman expectation)
- 10) The top (prime number, mass) of the pulsation wave pattern becomes the straight line by レッジエ trace graph.
- 11) As for the レッジエ trace graph, square of the mass becomes the straight line.
- 12)  $1/2h$  is the important fixed number to often come up in a quantum-mechanical equation.
- 13)  $1/2$  of the Lehman expectation is the straight line that is the mystery that 0 points form a line of the infinite unit.
- 14) A sine wave by the Fourier transform, a cosine wave and the point of intersection of the 1/2 straight line are 0 points.
- 15) The eddy of the solution (material wave) of the Schrodinger equation is equivalent with circular motion.

# Circle of the pulsation principle joins a prime number and physics together.

The figure of 0 points and the prime number of the Lehman expectation of relationships.



## [ 脈動原理の円が素数と物理を繋ぐ ] (1)

- 1) 素数の関数、ゼータ関数の波形はフーリエ変換により、多種の  $\sin$  波、 $\cos$  波の和と等価である。
- 2)  $\sin$  波、 $\cos$  波と軸との交点(ゼロ点)は回転軸上にある。軸(直線)を離れた交点は存在しない。
- 3) 脈動波形の頂点は素数、質量、クオーク、ゼロ点……等と深い関係がある。
- 4) 円運動の軌跡である円は、量子力学の自己共役作用素、エルミート作用素である。
- 5) 素数を半径とする円は脈動原理の物質波の頂点の軌跡であり、円と軸との交点がゼロ点である。

6. オイラーの積表示方程式は半径が 1 の整数倍の円形である。

7. 量子力学は半径が「 $h$ 」の整数倍の円形である。

8. 量子力学の質量の質量は半径が「 $m$ 」の整数倍り円形である。

9) 半径が 素数の円、円の中心は全て  $1/2$  ライン上にある。(リーマン予想)

10) 脈動波形の頂点(素数、質量)はレッジエ軌跡グラフで直線になる。

11) レッジエ軌跡グラフは質量の 2 乗が直線になっている。

12)  $1/2h$  は量子力学の方程式にしばしば登場する重要な定数である。

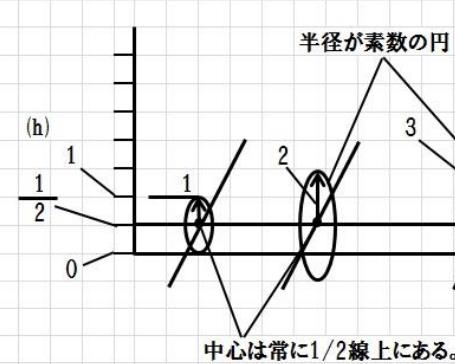
13) リーマン予想の  $1/2$  は無限個のゼロ点が並ぶ神秘な直線である。

14) フーリエ変換による正弦波、余弦波と  $1/2$  直線の交点がゼロ点である。

15) シュレーディンガー方程式の解(物質波)のラセン運動は円運動と等価である。

## [ 脈動原理の円が素数と物理を繋ぐ ] (1)

- 1) 素数の関数、ゼータ関数の波形はフーリエ変換により、多種のsin波、cos波の和と等価である。
- 2) sin波、cos波と軸との交点(ゼロ点)は回転軸上にある。軸(直線)を離れた交点は存在しない。
- 3) 脈動波形の頂点は素数、質量、クオーカー、ゼロ点……等と深い関係がある。
- 4) 円運動の軌跡である円は、量子力学の自己共役作用素、エルミート作用素である。
- 5) 素数を半径とする円は脈動原理の物質波の頂点の軌跡であり、円と軸との交点がゼロ点である。



オイラーの素数方程式と物質波との関係。

$$\frac{2^2}{2^2-1} \times \frac{3^2}{3^2-1} \times \frac{5^2}{5^2-1} \times \frac{7^2}{7^2-1} \times \frac{11^2}{11^2-1} \times \cdots = \frac{\pi^2}{6}$$

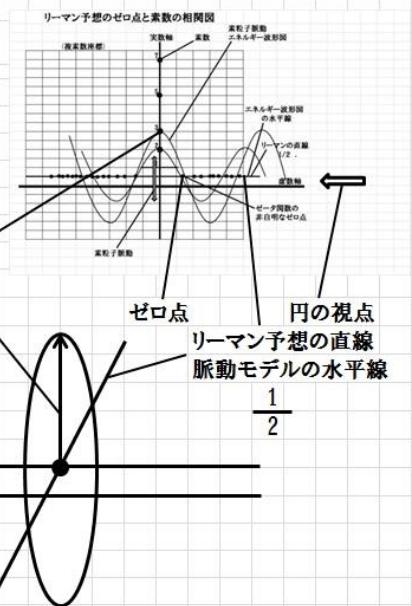
分母分子に  $\pi$  を掛けて円の面積  $\pi R^2$  にする。  
半径が素数の円の面積。

$$\frac{\pi 2^2}{\pi 2^2 - \pi 1^2} \times \frac{\pi 3^2}{\pi 3^2 - \pi 1^2} \times \frac{\pi 5^2}{\pi 5^2 - \pi 1^2} \times \frac{\pi 7^2}{\pi 7^2 - \pi 1^2} \times \cdots = \frac{(\pi 1^2)^2}{6}$$

半径が1の円の面積。  
半径が素数の円の面積。  
シュレーディンガー方程式の解。  
複素数平面にて円を描いています。

素粒子脈動原理エネルギー波形図の  
物質波の頂点。(素数)

素数 半径が素数の円



\* 半径が1の整数倍の円(オイラー方程式)

\* 半径が  $h$  の整数倍の円(量子力学)

\* 半径が  $m$  の整数倍の円(量子力学), レッジェ軌跡( $m^2$ )

\* 半径が 素数の円、円の中心は全て  $1/2$  ライン上にある。(リーマン予想)

\* 脈動波形の頂点(素数、質量)はレッジェ軌跡グラフで直線になる。 レッジェ軌跡グラフ

\*  $1/2h$  は量子力学の方程式にしばしば登場する重要な定数。

\* リーマン予想の  $1/2$  は無限個のゼロ点が並ぶ神秘な直線である。

\* フーリエ変換による sin 波、cos 波と  $1/2$  直線の交点がゼロ点である。

\* シュレーディンガー方程式の解(物質波)のラセンも円運動と等価。

\* 脈動原理の  $1/2$  は水平線に相当し、大統一場理論の場である。

